

# 「膵癌に対するサイバーナイフ放射線治療のための

## 血管内マーカー留置術の治療成績」

### 研究実施のお知らせ

#### 1. 研究の対象となる方

2012年9月1日から2020年12月31日に当院放射線科で血管内マーカー留置術を受けた方へ

#### 2. 研究の目的

サイバーナイフ治療を行うためには、どこに照射するか決めるための目印が必要です。この目印のことをマーカーと呼び、X線が透過しないプラチナでできています。これが腫瘍の内部ないしは近傍に置かれていることが必要です。このマーカーは皮膚の上から針で刺して留置されることもありますが、しばしば刺すことが困難なことがあり、その場合、血管内からマーカーを留置する方法があり、その安全性が報告されています。このマーカーによるサイバーナイフの照射位置精度については従来からその正確性が示されており、また肺腫瘍などで多く血管内からマーカーを留置による治療成績が報告されています。

しかし、膵癌の治療報告はまだそれほど多くないのが現状です。このため、血管内マーキングによるマーカー留置でサイバーナイフ治療を行った方の治療後の病気の経過を検討することが目的です。

#### 3. 研究の方法

カルテ記載されている内容（留置術レポート、部位、血管走行、血液データ、サイバーナイフレポート、その後の合併症の有無、生死の有無）などから、血管内マーカー留置術はどのような血管で難しいのか、どのように置いた場合、サイバーナイフが順調にいくのか、血管内マーカー留置術によるサイバーナイフ治療の成績は従来の報告されている治療成績と比較してどのようになっているかを検討します。

#### 4. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2023年8月31日

#### 5. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：年齢、生年月日、膵癌進行度分類、血液データ、血管内マーカー留置術内容、サイバーナイフ治療歴、副作用等の発生状況など

#### 6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

## 7. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

この研究の情報の利用者は放射線講座の研究者のみです。

【研究責任者】

山梨大学 放射線医学講座 荒木 拓次

## 8. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

## 9. 個人情報の取扱いについて

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

## 10. 利益相反（企業との利害関係）について

この研究は、放射線講座の研究費を用いて実施します。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

## 11. お問い合わせ等について

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又は FAX にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又は FAX にてご連絡ください。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学医学部 放射線医学講座 荒木 拓次

〒409-3898

山梨県中央市下河東 1110

Fax : 055-273-6744

Mail : taraki@yamanashi.ac.jp